

事業評価書

補助事業名	東富士演習場関連公共用施設（交通施設：市道4388号線）整備事業						
補助事業者名	裾野市長						
実施場所	裾野市須山地内						
補助事業の成果の目標	市道4388号線は、須山地区の要望を受け平成24年度より事業着手し、同地内の交通の円滑化を図るとともに歩道を設置することで地元住民の安心安全の確保に寄与する。						
補助事業の内容	道路改良舗装 L=850m W=5.5m						
補助事業の始期及び終期	始期：平成24年度 終期：令和2年度						
事業費及び交付金額		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
		円	円	円	円	円	円
	事業費	3,570,000	16,001,800	39,348,000	77,640,000	65,011,327	81,248,774
	交付金額	3,000,000	14,500,000	33,100,000	71,000,000	62,142,000	73,900,000
		H30年度	R1年度	R2年度			計
		円	円	円			円
	事業費	28,207,801	3,247,248	77,888,661			392,163,611
	交付金額	25,000,000	2,500,000	73,462,000			358,604,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	沿線の地元区長や地元役員等にアンケート調査を実施した結果、回答者の約8～9割から、「工事後の状況について満足している」「利便性が向上した」「歩行者の安全性が確保された」等の回答が得られたことから地域住民の交通環境が改善されたことを確認できた。 工事中の立て看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を記載し周知した。また工事回覧及び市のホームページにより本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	特になし						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	東富士演習場関連公共用施設（交通施設：市道1-15号線）整備事業						
補助事業者名	裾野市長						
実施場所	裾野市今里地内						
補助事業の成果の目標	当該計画路線市道1-15号線は、道路幅員が7.5m程度の片側1車線道路であるが、市道4008号線との三方交差点では、東から南に右折する際、右折レーンが無いため渋滞が発生している。 周辺地区においては生活道路として、また、災害時の緊急輸送路として整備された路線であり、当該計画整備により周辺の交通が円滑化され、裾野市北部地区にある工業団地への通勤車両による渋滞緩和にも繋がり、周辺住民の交通環境の改善が図られる。						
補助事業の内容	交差点改良 L=175.7m W=6.0m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度から令和2年度						
事業費及び交付金額		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (繰越)		計
	事業費	円 8,370,979	円 —	円 1,332,338	円 37,475,119		円 47,178,436
	交付金額	7,500,000	—	1,200,000	35,566,000		44,266,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	沿線の企業にアンケート調査を実施した結果、回答者全員から、工事後の状況に満足していると回答を得られた。また「慢性的な渋滞が目に見えて緩和している」「信号待ちが少なくなりとても便利になった」などの意見を得られたことから渋滞が改善されたことを確認できた。 工事中の立て看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を記載し周知した。また工事回覧及び市のホームページにより本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	特になし						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	東富士演習場関連公共用施設（教育文化施設：裾野市民文化センター改修）整備事業								
補助事業者名	裾野市長								
実施場所	裾野市石脇583								
補助事業の成果の目録	<p>市民文化センターは、平成3年の供用開始以来、各種公演や市民の発表会、各種イベントなどに使用され、市の中核的教育文化施設の役割を担っている。</p> <p>しかし当施設は建築後約30年が経過し、各種設備の劣化等が見受けられ、舞台照明やエレベーターなど、大規模改修の必要がある。</p> <p>市民文化センター改修基金事業のうち、令和2年度はエントランスホールの空調設備を改修することにより、施設の機能を維持・向上し、引き続き地元住民が快適に当施設を利用できることを目標とする。</p>								
補助事業の内容	<p>エントランスホール空調設備改修</p> <p>空冷ヒートポンプエアコン室内機更新（地階 空調機械室）</p> <p>空冷ヒートポンプエアコン室外機更新（3階（屋上） 空調機械設置場）</p>								
補助事業の始期及び終期	平成27年度から令和5年度まで								
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	円	
		0	0	0	29,106,000	30,056,400	34,430,000	93,592,400	
	基金造成額	交付金	65,250,000	65,250,000	65,250,000	65,550,000	0	65,250,000	
		市町村費等							
		その他							
運用益		130,500	130,630	98,542	180,251	188,564			
計	65,250,000	65,380,500	65,380,630	65,648,542	180,251	65,438,564	327,278,487		
基金処分額	0	0	0	20,000,000	20,000,000	20,000,000	60,000,000		
基金残額	65,250,000	130,630,500	196,011,130	241,659,672	221,839,923	267,278,487	267,278,487		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>利用者へのアンケート調査を実施したところ、回答者のうち「大変満足」と回答された方が99名中33名（33%）、「満足」と回答された方が44名（44%）となり、改修の成果が見られた。</p> <p>また、施設を管理する指定管理者に対し聞き取り調査を行ったところ、従前は地下機械室へ行きアナログ目盛りの微調整を行っていた温度管理が、事務室でデジタルで行えるようになり簡便になった、また、新たに送風機能が加わったため、天井の高いホール内の空気を対流させることでより細かな温度調整が可能になったとの回答が得られた。</p> <p>工事看板と市ホームページへ交付金事業により改修したことを記載をし、地域住民への周知を行った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	特になし								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	東富士演習場関連公共用施設（教育文化施設：御宿上谷区集会所） 整備事業						
補助事業者名	裾野市長						
実施場所	裾野市御宿27-7、27-9、27-10、27-12						
補助事業の成果の目標	<p>上谷地区集会所は、地域社会活動の拠点として利用されているが、建築後38年が経過しているため老朽化している。 更にその仕様においても、車いす用のトイレがないことなど、近年のバリアフリー化等に対応しておらず、地域住民のニーズを満たしていない。 このことから、バリアフリー化により環境を整え、地域コミュニティの活性化を図る。 （参考指標） 年間の利用回数：平成28年度 98回 1,903 人、 平成29年度 86回 1,694 人、平成30年度 95回 1,987 人、 令和元年度 122回 2,051 人 平成28年度～令和元年度までの平均利用回数 100回 1,908 人 令和3年度の利用見通し： 125回 2,060 人</p>						
補助事業の内容	木造 平屋建て 延床面積198.74㎡						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		2年度					計
	事業費	円 56,386,000					円 56,386,000
	交付金額	46,700,000					46,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>地区住民へのアンケート調査を実施したところ、玄関までのアプローチや各部屋への段差解消についての満足度が高く、またこの項目に関して不満とした回答はなかったことからバリアフリー化という住民ニーズが満たされたことを確認した。 令和3年度の利用回数は69回1,193人であり、コロナウィルス感染症対策（ソーシャルディスタンス確保のため、会議、打合せなどでは出席者を制限し、地区行事などの開催を見合わせた）などにより目標とする125回2,060人を超えることはできなかったもののアンケート調査による利用者の満足度から成果を確認できた。 集会所建物外壁に事業名等を記載した銘板（プレート）を設置した。また市のホームページに掲載し、9条交付金事業により建設したことを関係住民及び市民に周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も感染症対策を適切に実施しながら、利用者の意見に対応する。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						